

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホエール学園らいとはうす		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの個性に寄り添う支援を大切に、発達段階や興味に合わせて柔軟に対応しています。保育所等訪問支援との併用も可能で、家庭や学校との連携も丁寧に行うことで、一貫したサポート体制を整えています。	遊びや活動の中に自然に学びを取り入れるよう、支援内容を日々のお子さまの成長に合わせて実施しております。また見通しをもてるスケジュール提示や視覚的な支援を取り入れお子さまが安心して過ごせるよう工夫をしています。	今後は、子ども一人一人の状況により的確に対応するため、家庭・学校・保育所等との連携をこれまで以上に深められるよう、各機関との情報共有を定期的におこない支援内容を強化していきます。
2	どの職員が関わっても同じレベルの支援、取り組みができるよう、定期的な振り返り、情報共有を行っております。チーム全体でお子さまの状況を把握することで、一人ひとりに合わせた支援へと繋げてまいります。保護者様への情報共有もチーム連携によりスムーズに行い、安心できる環境づくりを大切にしています。	活動前、活動後など定期的なミーティングで支援内容や対応方法を共有し、改善につなげています。保護者様への報告も迅速に行い安心できる情報伝達を心がけています。	定期的な研修や勉強会を増やし、より効果的な支援に繋がるよう努めてまいります。保護者様、関係機関のご意見も参考にしながら、サービスの質の向上に繋がるよう心がけてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市内の公立学校への送迎が増えており、ご希望されるご利用者様すべての送迎対応が困難であることです。保護者様による送迎のご協力をお願いするケースが増えています。	送迎エリアの拡大に伴い、交通状況や距離の影響、下校時刻の重複などがおこり、すべてのご希望に対応することが難しい状況がございます。	送迎ルートの見直しや利用者様のスケジュール調整もご相談させていただきながら、送迎スケジュールの最適化を目指し今後のニーズに答えられるよう検討してまいります。
2			
3			